

フレッシュマン・オカザキのインド通信

まじめな丁場ニュース！！

お世話になっております！

ここ最近、インドの主要な丁場は中国からの発注量の減少や雨季の訪れによる長雨のせいで相次いで採掘停止状態になっています。その影響は中国各工場においても一部のインド産原石の在庫が底をつくというカタチで顕在化してきました。

メジャー石種 **アーバングレー (MD-5)** の丁場も同様に厳しい状況が続いていました。しかし、直近では状況に少し変化も見えつつあるようで、中国の原石商社が手当たり次第に発注を駆け始めており、石が出れば即買い占め、近年日本で話題の「**爆買い**」の状態になっているみたいです。。
今回はそんなアーバングレーの二大丁場と傘下の丁場を1つずつピックアップして皆様に現状を詳しくレポートします！

アーバンの丁場は大体がAPG (ソーカー) グループとAMAR (アマル) グループに分かれます。採掘にはとてもお金がかかる為、小さい丁場は資金援助をしてもらい、代わりに石を提供することで成り立っている状況のようです。

※ 現状稼働中の丁場は大小含めて8ヶ所にまで増え、原石の価格は上昇基調です。

【MD-5 APG】

アーバングレーニ大丁場の一つ。需要と供給のバランスや雨季の影響で一時的に閉鎖されていましたが、ソーカー会長の鶴の一声で採掘が再開されました。本来の石目は青味がかったお肌深みのある綺麗な色合いですが、現状はピンクがかっている石も多少あり、検品員の眼力が試されるところです。



↑ピンク点、磨くとはっきりとわかるようになります。

【MD-5 AMAR】

ニ大丁場のもう一つです。中国の工場が良く購入している非常に人気のある丁場です。現状において採掘は順調に行われておりますが、この丁場はキズを見抜く力を検品員に要求するところがあります。

写真は最新のものではありませんので悪しからず…。



【MD-5 PA】

APGと同じオーナーが投資しているまだ小さい丁場です。

小さい丁場は石質が変化しやすく、採掘が進んで大きくなるまでは安定しづらいたのですが、現状は良い層に当たっています。しかし、雨季の影響で採掘・原石の整形スピードが遅くなっており、納期は押しに押ししてしまっています。。。(泣)



↑小さい丁場ですが、地色が濃く、ピンク点も少ないです。

【MD-5 KA】

5月頃に再開した丁場です。現状少し薄いですがピンクはありません。

しかし、こちらの丁場はAMAR丁場の支援を受けているようで、AMARを経由してしか購入できません。

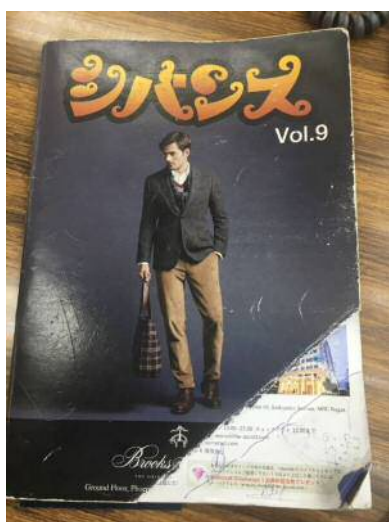


↑採掘開始したばかりといった様子。少し薄いかな？

各丁場の紹介を通じて現状をご説明させて頂きました。仕入部門の人間にとって採掘の停滞ほど我々にとって頭の痛いものはありません。。そんな現地の状況も少しでもご理解して頂ければ幸いです。また何か情報がありましたら、ご報告させて頂きます！

シバンスとは…??

前回のチェンナイ出張の際に面白いものを見つけましたので皆さんにご紹介します。当社の協力工場があるチェンナイを訪れた際、ホテルでチェックアウトの手続きをしていると、目の前に飛び込んできたのはなんと日本語！



シバンス…? ホテル受付のマウスパッド(メモ帳?) 代わりになっていたこの本、実はチェンナイに住む日本人の為の情報誌だったのです。

内容は、レストランやマッサージ店の紹介やインド国内の旅行情報、チェンナイに現地法人事務所を置く日系企業へのインタビューなど盛りだくさんです。日本人サークル・同好会の紹介も載っており、メンバー募集を呼び掛けています。また、日本の大学からのインターンシップを呼び掛けているようで、学生レポーターの取材など面白い記事も載っていました。



1泊2日 バンガロール出張は
チャンセリーホテルへ!

バンガロールの中心地にあり、周辺にはお洒落なカフェやショッピングモール、緑あふれる公園。仕事、遊びに最適なホテルをご案内します!

13 チェックイン
バンガロール空港から車で約40分。The Chancery では出張の疲れや仕事でお腹も気持ちの心をも癒す日本式のサービスを提供するまでになっています。ホテル到着後には日本酒の飲み会もスタッフがお客様をスムーズにお案内へとご案内。毎年の為のバスマジックの部屋もご用意です。

18 銭湯 ~かわり湯~
高級化粧品、韓国、カッパの高級品が揃ったお風呂がおすすめです!

20 レストラン ~祭~
日本食・焼酎の堪能もしております。2人の日本人シェフが腕をふる日本食、朝ラーメンも人気です! 金曜コースも人気です。お祝いにはジャパニーズコースまでご用意しております。

スパ
自分のお肌を大切にしたい。お肌も必要です。お肌も必要です。お肌も必要です。

ジャパニデスク
何かあってもご安心を!
英語が苦手な方も安心してご滞在頂けます。滞り、滞りのお困りなお客様、各務部がサポートします。

The Chancery
10 & Lavelle Road, Bangalore-560001, Karnataka, INDIA
TEL: +91 96461 8888 (English) 日本語も対応いたします。
Email: japandesk@thechanceryhotels.com (ご予約・お問い合わせ)
URL: http://www.thechanceryhotel.com/bangalore/ (HPでご予約)

インターン体験記
いま、そしてこれから。

小原 伸朗 Noburo Kohara
神戸大学経済学部四年生 (経済学)
岐阜県三好郡出身。

出身地の特産品を売場にする男であり、My favorite foodは秋刀魚に惹かれました。favorite YURUCHARAは「すもも」です。インドにはまだ行ったことがないので、ムンバイという50sの異色で代替。

インターン先の様子、おもしろいです! シバンスのインターン生の生活です。二階連続の体験記となりますが、驚きに付き合ってやって頂ければ幸いです。

前年の体験記を書いた時から3ヶ月、短いと思えますが、このインターンシップとして約半年間働いている3ヶ月では、色々な事が起こります。それは想像よりも、自分の内面の中でも。

まず、自分の役割が変わりました。僕は社員の福田さんに、シバンスの4階のうちの2階をまとめた「リーダー」という役割を任せられました。リーダーとは、毎日毎週毎週に新しいメンバーと向き合い、シバンスの未来と向き合い、シバンスを共に育てていくという仕事です。リーダーを任せられた僕は、「自分がシバンスの未来を作るんだ」という意識を強くしました。

しかし、このリーダーという立場に立ったこの3ヶ月間、僕はリーダーとして自分自身の数々の課題に苦しむことになりました。それは、「なんでもかんでも自分で抱え込んでしまうこと」です。

例えば、新卒のメンバーに指導していたこと。僕は新卒のメンバーと一緒に毎日働く必要がありました。その中で、思うように指導ができていないことをただただ自らに言い、その責を自分の方で背負ってしまっていました。リーダーとして、どうにかして……という思いも、その解決策は「自分自身ももっと経験し、思いやりのないこと」という考えをしていました。例えば、メンバーに聞き取りが必要だったこと。メンバーの気がなんらかの問題で困っている際、自分が何か方なりたかなどに自分の言う事は正しいのか?と考えるか?それとも、どうにかして……という思いも、その解決策は「自分自身ももっと経験し、思いやりのないこと」という考えをしていました。

ただ、このシバンスチームのメンバーで、より良いシバンスを作り、誰か一人でも抱え込んでいたリーダー、ついでに自分自身も抱えていた。それが自分自身で抱えていた。それが自分自身で抱えていた。それが自分自身で抱えていた。

↑バンガロールに銭湯! ? 是非行ってみたい!

調べてみると、シバンスは掲載されているお店からの広告費で収益を上げており、無料で手に入れる事が出来ます。2012年からチェンナイ版のほかバンガロール(IT企業が多くある国際都市)でも発行されており今後もどんどん展開していくようです。ちなみにシバンスという名前の由来は、インド神話に出てくるシヴァ神のダンスを略してこの名前になったそう。

外務省の統計によると、在印邦人(インドで3ヵ月以上生活している長期滞在者、もしくは永住者)の数は**約8500人**。ここ4年で1200人以上増えています。在チェンナイ邦人の数は詳しくは出ていせんでしたが、少なくとも1000人を超えているようです。

YAMAHA、日産、三菱、東芝など多くの企業がチェンナイに生産拠点を設けており、今後も増大していくことでしょう。シバンスのような日本関連の情報誌は多くの在チェンナイ邦人にとって更に大切な存在となっていくのではないかと思います。

海外に暮らす日本人の生活を少し垣間見る事が出来ました！私はたまに出張に行くだけなので数日我慢すれば日本に戻れますが、インドで生活をするとなると馴染むのは簡単ではなさそうです。。

最後まで読んで頂き有難う御座いました！また来月まで！

2016/07/01 オカザキ